



## アドビシステムズ社が 2000 年会計年度第 1 四半期において 3 期連続で過去最高の売り上げを記録

**Web** ビジネスにより売り上げ前年同期比 **24%** 増、営業利益 **63%** 増を達成

米国カリフォルニア州サンノゼ発(2000年3月16日)(NASDAQ:ADBE): Adobe Systems Incorporated(本社:米国カリフォルニア州サンノゼ)は、2000年度第1四半期(1999年12月~2000年2月期、2000年3月3日をもって終了)の決算結果を発表しました。

2000年度第1四半期(以下今期)の売り上げは、2億8,220万米ドルで、前年同期実績の2億2,690万米ドル、および前年第4四半期の2億8,180万米ドルと比べ、過去最高を記録しました。これにより、年率24%の成長を達成したことになり、3期連続で売り上げ記録を更新しました。

「今期の売り上げは、弊社の製品ラインアップへの注力と成功を示すものです。第2四半期を迎えるにあたって、効率的な業務インフラと次期新製品により、当社は市場で最も強い位置を占めるでしょう」と、アドビシステムズ社会長兼CEOであるジョンE.ワーノックは語っています。

今期純利益(営業外損益を含む)は6,460万米ドルでした。なお前年同期実績は3,830万米ドル、前年第4四半期は9,740万米ドルでした。

1億2,650万株の加重平均株価に基づく今期の総発行済株式一株当たりの利益は、0.51米ドルでした。前年同期の1億2,680万株に基づく同利益は0.30米ドル、前年第4四半期の1億2,740万株に基づく同利益は0.76米ドルでした。

事業再編の為の実際のコストが見積額を少し下回った結果の戻し益およびその他の資産の売却利益、同社のベンチャー投資プログラムからの投資損益などの利益を差し引いた今期の総発行済み株式一株当たりの利益は、0.47米ドルでした。

今期の営業利益は8,900万米ドルでした。前年同期実績の5,450万米ドルおよび前年第4四半期の8,190万米ドルでした。事業再編の為のコストの見積額の戻し益を除いた今期の営業利益は、今期売り上げの31.3%でした。なお、前年同期は24.0%、前年第4四半期は31.5%でした。

同社取締役会は、2000年3月27日時点のアドビシステムズ社の株主に対して、2000年4月10日付で配当される一株当たりの今期配当金は0.025米ドルを予定していると発表しました。



本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、少なくとも以下のようなものが挙げられます。

- ・新製品やアップグレード製品が市場に受け入れられない可能性
- ・新製品や既存の製品の新しいバージョン納入の遅延
- ・競合他社の新製品の市場投入
- ・製品の過渡期にあることによるプリンティングビジネスの弱さ
- ・業界の新しい配送およびビジネス、情報配信モデルへの期待
- ・ビジネスを行っている地域での経済的混乱や「2000年問題」を含む問題

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。詳しいリスクと不確実性については、1999 / 2000年版 Form10-K中の1999年決算報告書およびForm 10-Q中の1999年四半期決算報告書などを含む証券取引委員会 (SEC) 資料をご参照下さい。

#### アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Webおよび印刷、出版分野において定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像・動画、そしてオーサリングのためのツールは、あらゆるタイプのメディアにおいて豊かで視覚効果あふれるコンテンツの制作、出版、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社中第四位で、1999年度の年商は10億ドル超に達しています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Webサイト [www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp) でご覧いただけます。